

令和6年度

寄居町 教育行政重点施策



男衾小学校

さんの作品「寺と生きる」 令和5年度第58回郷土を描く児童生徒美術展大里地区 知事賞



寄居町教育委員会

基本理念

夢と心をはぐくみ 未来を拓く寄居の教育

寄居町教育委員会では、基本理念「夢と心をはぐくみ 未来を拓く寄居の教育」に基づき、5つの具体的な基本目標を定め、その達成に向け、施策ごとに具体的に取り組み、教育行政を推進します。

目指す子供像

心身ともに鍛え、夢に向かって挑戦する
寄居町の子供

基本理念に基づく5つの基本目標

- | | | |
|-----|-----------------------|-----|
| I | 未来を拓く確かな学力の育成 | P 2 |
| II | 豊かな心と健やかな体の育成 | P 6 |
| III | 教職員の資質向上と教育環境の充実 | P 8 |
| IV | 家庭・地域の教育力の向上 | P11 |
| V | 生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進 | P13 |

(参考)SDGs 17の目標(ゴール)

SDGs (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標) とは、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標で、17の目標 (ゴール) から構成されています。寄居町教育委員会では、教育行政重点施策の各施策をSDGsの各目標に沿うように設定し、達成できるよう積極的に取り組んでいます。



	1 貧困をなくそう		10 人や国の不平等をなくそう
	2 飢餓をゼロに		11 住み続けられるまちづくりを
	3 すべての人に健康と福祉を		12 つくる責任、つかう責任
	4 質の高い教育をみんなに		13 気候変動に具体的な対策を
	5 ジェンダー平等を実現しよう		14 海の豊かさを守ろう
	6 安全な水とトイレを世界中に		15 陸の豊かさも守ろう
	7 エネルギーをみんなに、そしてクリーンに		16 平和と公正をすべての人に
	8 働きがいも、経済成長も		17 パートナーシップで目標を達成しよう
	9 産業と技術革新の基盤をつくろう		

基本目標 I

未来を拓く確かな学力の育成

施策 1

主体的・対話的で深い学びの実現



取組1 個別最適な学びの工夫

子供一人一人に応じた指導方法・教材・ICTの利活用、学習活動、学習課題に取り組む機会を提供することで、児童生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう工夫します。

【成果指標】 ICT活用事例の動画作成本数 【目標値】 各教科2本以上

取組2 協働的な学びの工夫

探究的な学習や体験活動を通じ、児童生徒どうしの学び合いや多様な他者との協働活動を工夫することによって、異なる考え方が組み合わさり、よりよい学びを生み出す資質能力を育成します。

【成果指標】 協働的な学びを取り入れた授業の実施率 【目標値】 100%

取組3 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

ICTを活用した新たな教材や学習活動等を積極的に取り入れつつ、「個別最適な学び」の成果を「協働的な学び」に生かします。更にその成果を「個別最適な学び」に還元するなど個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善につなげます。

【成果指標】 町教育委員会による授業への指導回数 【目標値】 40回以上

施策 2

GIGAスクールの推進（学習用タブレットの活用推進）



取組1 ICT支援員による業務支援

小中学校に整備したICT機器等を活用した実践的な指導ができるよう、教員の指導力の向上を図るとともに教職員の働き方改革のため、人的支援を行います。

【成果指標】 ICT支援員の巡回支援回数 【目標値】 各校月2回

取組2 デジタル教科書の活用推進

デジタル教科書は多くの情報を収集でき、多様な学習ニーズへの対応が可能になり、新たな学びのスタイルが構築できます。動画や音声のコンテンツや拡大・書き込み等の機能を活用することにより、児童生徒の学びを深めるとともに、学びをいっそう充実させます。

【成果指標】 デジタル教科書使用率 【目標値】 100%

施策 3

確かな学力の育成



取組1 学力向上推進委員会の充実

児童生徒の学力向上を目的に、寄居町学力向上推進委員会を設置します。学力向上の調査研究、学力向上に係る研修会の開催、町内全体の学力向上に必要な事業、学力向上に係る資料の作成等を実施します。

【成果指標】 研修会の実施回数 【目標値】 5回以上

<p>取組2</p>	<p>小中一貫教育の推進</p> <p>小中一貫教育における各教科の年間指導計画をもとに、中学校区ごとに小中一貫教育の9年間を見通した教育課程を編成します。これによって小中一貫教育の推進を図り、児童生徒の学習意欲の向上と中1ギャップの解消を目指します。</p> <p>【成果指標】 中学校区の小中乗り入れ授業の実施回数 【目標値】 各校3回以上</p>
<p>取組3</p>	<p>放課後サポートスクール事業（より・E土曜塾）</p> <p>希望する進路の実現と確かな学力の向上を図り、地域を担う人材育成のための放課後サポートスクール事業として、「より・E土曜塾」を実施します。</p> <p>教科は国語、数学、英語の3教科とし、中学1～3年生が対象です。進路対策や定期テスト対策等の講座を開設し、それぞれ50分ずつ対面型、オンライン型、オンデマンド型を組み合わせたハイブリッド形式で展開します。経験豊かな講師陣に委託し、少人数グループでのきめ細かな指導を行います。</p> <p>【成果指標】 中学1，2，3年生の登録率</p> <p>【目標値】 中学1，2年生はそれぞれ90%以上、中学3年生は95%以上</p>
<p>取組4</p>	<p>より・E 学力向上講演会の実施【新規】</p> <p>「希望する進路の実現」や「確かな学力の育成」を目的として、町内中学生と保護者を対象に1学期中に講演会を実施します。「埼玉県 公立入試のポイント」「高校の選び方」「夏休みの勉強方法」等、中学生の希望する進路を実現するための糧となるような内容を提供します。</p> <p>【成果指標】 講演会実施回数 【目標値】 1回</p>
<p>取組5</p>	<p>学習指導研究委嘱</p> <p>町内の学校から1校に2年間の学習指導の研究を委嘱します。令和5・6年度は用土小学校に委嘱し、2年間の研究の中で授業改善や学力向上に向けた取組を意図的、計画的及び組織的に実施します。先進的な取組を町内の学校に普及します。</p> <p>【成果指標】 研究委嘱本発表の実施回数 【目標値】 1回</p>
<p>取組6</p>	<p>学習支援サポーターの配置</p> <p>各校の実態に応じ、学習を苦手とする児童生徒を支援したり、教職員の指導の補助をしたりするなど学習効果を高めるために教員免許所有又は教職経験のある会計年度任用職員を配置します。</p> <p>【成果指標】 学習支援サポーター配置率 【目標値】 100%</p>
<p>取組7</p>	<p>タブレットを活用した個別学習</p> <p>すぐにでも、どの教科でも、誰でも活かせる1人1台端末の活用を推進します。授業や家庭学習における個別最適な学びの学習ツールとして活用します。学習アプリケーションソフト等を用い、個人の課題や能力に応じた学習を実施します。</p> <p>【成果指標】 タブレット端末を活用した家庭学習の実施回数 【目標値】 各校月1回以上</p>
<p>取組8</p>	<p>算数検定実施事業</p> <p>小学2～6年生を対象に、町費で算数検定を実施します。</p> <p>低学年からの算数への興味・関心・意欲を高め、算数力の更なる向上を目指し、町費での算数検定を実施します。自分で選択した検定級に挑戦することで、全国規模の問題から算数の基礎的・基本的な力の定着を図ります。</p> <p>【成果指標】 各小学校の合格率 【目標値】 85%</p>
<p>取組9</p>	<p>中学校探究学習実施事業（寄居ふるさと探究学）</p> <p>各中学校において、総合的な学習の時間で学年・学級の枠を取り払った縦割りグループを編成し、ゼミ形式で展開します。「生徒が創りたい寄居のまち」をメインテーマとし、生徒は自身の興味・関心をもとにゼミを選択し、探究的な学習に取り組みます。生徒の学びにおける主体性・協働性をはぐくみ、郷土愛の醸成を目指します。</p> <p>【成果指標】 町長への提言の実施回数 【目標値】 1回</p>

取組10	基礎的・基本的な学習内容の確実な定着
各校において、「主体的・対話的で深い学び」を実現し、育成すべき資質・能力をはぐくみます。また、「より・E春塾」等のオンデマンド型の学習を通して、基礎的・基本的な学習内容を確実に定着させます。	
【成果指標】 全国学力・学習状況調査結果において全国平均正答率を上回る学校数 【目標値】 5校以上	
取組11	寄居町学力テスト事業【新規】
全国学力・学習状況調査実施日に、小学2～5年生、中学1～2年生を対象に、学力テストを実施します。教科は算数・数学です。 児童生徒の学習状況や実態を把握するとともに、調査結果を分析することにより、学習指導上の課題を明らかにし、学力向上に役立てます。	
【成果指標】 寄居町学力テストの結果を活用した校内研修の実施回数 【目標値】 各校1回以上	
取組12	より・E算数・数学定着テストの実施【新規】
基礎的・基本的な学習内容の定着に焦点化した問題を作成し、小学校全学年、中学1～2年生を対象に年度末に実施します。 基礎基本を身に付けたうえで、より高いレベルでの問題解決ができる児童生徒を育成することを目的とします。	
【成果指標】 テストの合格率 【目標値】 100%	

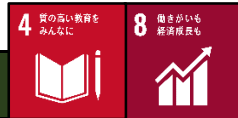
施策4 **グローバル化に対応する力をはぐくむ教育の推進**



取組1	A L T 派遣事業
各小・中学校にA L Tを配置することで、児童生徒に本物の外国語に触れ親しむ機会を増やし、外国語活動や英語学習、国際理解教育を充実させます。英語に対する興味・関心をより一層高め、中学校の英語教育に滑らかに接続していきます。学力の向上と児童生徒の学習意欲の高揚を図ります。	
【成果指標】 A L T 配置人数 【目標値】 2小学校に1名ずつ、1中学校に1名ずつ 計6名	
取組2	小学校英語教育推進事業（より・E小学生英語塾）
「より・E小学生英語塾」入塾者のうち、希望する児童の英検5級受験を無償とします。 「より・E小学生英語塾」を小学6年生対象に実施し、英語に対する興味・関心を高めるとともに、中学校卒業までの英検3級取得につなげます。	
【成果指標】 町内全小学6年生在籍数にしめる登録率 【目標値】 100%	
取組3	中学校英検無償化事業
中学1～3年生を対象に、英検無償化事業を実施します。 グローバル化が進む社会において、今後益々英語力の向上が求められています。生徒の意欲と英語力を向上させ、中学校卒業までの英検3級以上の取得を目標として取り組みます。	
【成果指標】 中学3年生の英検3級以上の取得率 【目標値】 45%	
取組4	英検対策講座事業
中学1～3年生を対象に、英検対策講座事業を実施します。 生徒一人一人の目標級取得実現のために、中学3年生は8月末から9月に6回実施し、中学1，2年生は12月末から1月に6回実施します。	
【成果指標】 実施回数 【目標値】 12回	
取組5	中学生海外相互交流事業
寄居町と米国オハイオ州メアリズビル市との交流事業の一環として、グローバル化に対応できる人材を育成するため、毎年中学生を相互に派遣し合う事業を行っています。令和6年度はメアリズビル市の学生を寄居町で受け入れます。	
【成果指標】 受け入れ回数 【目標値】 1回	

施策5

夢をはぐくむキャリア教育の推進



取組1 キャリア・パスポート等のポートフォリオの活用

社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力をはぐくむため、児童生徒の学びと将来とのつながりを見通しながら、自らの学びのプロセスを記述したり振り返ったりするため、キャリア・パスポート等のポートフォリオを活用します。

【成果指標】キャリア・パスポート等のポートフォリオを活用した授業の実施回数

【目標値】各学級3回以上

取組2 1/2二十歳式、立志式の実施

小学校で1/2二十歳式（小学4年生）、中学校で立志式（中学2年生）を実施します。将来の夢や目標をもたせ、それぞれが互いに誓いの言葉を発表することにより、自己理解や他者理解を深化させる式を催します。

【成果指標】各校における実施回数 【目標値】各校1回

施策6

多様なニーズに対応した教育の推進



取組1 臨床心理士による巡回相談

通常学級や特別支援学級において、支援を要する児童生徒に対する支援の在り方について指導助言をし、対象児童生徒の実態に応じた支援の実現につなげます。

【成果指標】巡回相談実施回数 【目標値】各校2回

取組2 通級指導教室の充実

通級指導教室では、一人一人に寄り添いながら、「学力の向上」や「対人関係能力の向上」について指導・支援を行います。小学校でのことばの教室では、ことばの発達、発音、話し方、コミュニケーションに関することなど、一人一人の課題に応じた支援を行います。

【成果指標】通級指導教室担当者連絡協議会実施回数 【目標値】6回

取組3 幼保小・小中連携連絡協議会

幼保小・小中の教職員が連携を図ることにより、進学等によって環境が変化する児童生徒へのよりよい支援の在り方についての研究を深め、小1プロブレムや中1ギャップの解消を図ります。

【成果指標】協議会実施回数 【目標値】各小学校で1回 各中学校区で1回

取組4 介助サポーターの配置

インクルーシブ教育の推進として、一人一人の教育的ニーズに応じた指導を提供するために、特別な支援や配慮が必要な児童生徒へのサポートを行います。生活支援の補助員として町の会計年度任用職員を配置します。

【成果指標】全小・中学校における介助サポーター配置率 【目標値】100%

施策 7

心をはぐくむ教育の推進



- 取組1 道徳教育の充実**

「考え、議論する道徳」の授業実践を通して、自他の大切さを認め、主体的に考え行動し、社会の一員としてよりよく生きようとする児童生徒の育成を目指します。一人一公開授業や、TTによる授業を行い、道徳的な課題を、児童生徒が自分自身のこととして捉え、主体的に考える力を育てます。また、社会で活躍する町出身の方を題材にした独自教材による授業を全校で実施します。

【成果指標】 独自教材による授業実施回数 【目標値】 小学3年生から中学3年生までの各学級で1回以上
- 取組2 「道徳のまち・寄居」道徳講演会の実施**

「道徳のまち・寄居」を目指して、各校では、社会において広く活躍されている寄居町にゆかりのある方に焦点をあてた道徳の教材を作り、道徳の授業を行います。また、寄居町健全育成町民会議と共催し道徳講演会を実施し、学校と地域が連携し児童生徒の道徳性をはぐくむ環境を整備します。

【成果指標】 参加者数 【目標値】 1,050人
- 取組3 「読書通鳥」の活用**

「読書通鳥（読書記録帳。通鳥と、「鳥」を使っているのは、町の鳥であるキジを図書館のマスコットキャラクターとしてしていることによる。）」の活用を一層推進するとともに、家庭での読書の習慣を充実させ、児童の豊かな心をはぐくみます。

【成果指標】 読書通鳥100冊達成認定書の発行数 【目標値】 330枚
- 取組4 読書活動の支援**

児童の読書活動を支援するため、全小学校へ移動図書館「たまよど号」の巡回を行います。また、自宅に居ながらいつでも利用できる電子図書館の充実に努めます。

【成果指標】 移動図書館巡回数 【目標値】 各小学校18回

施策 8

いじめ・不登校防止対策の推進と生徒指導の充実



- 取組1 かわせみ教室による不登校児童生徒への支援**

不登校または不登校傾向にある児童生徒が通級する教室であり、心理的な安定や基本的な生活習慣の育成、社会性を身に付けることを重視して指導します。また、個別や小集団での学習や体験活動等を通じて、基礎学力の向上や集団生活への適応力を高めることにも視点をおき、社会的な自立を目指します。

【成果指標】 不登校児童生徒のかわせみ教室入級率 【目標値】 25%以上
- 取組2 いじめ問題対策連絡協議会の開催**

学校関係者・警察・行政関係者・主任児童委員で構成されており、いじめ防止対策推進法を中核とし、いじめの早期発見、迅速な対応等について学校間で情報共有を行います。適宜警察等の指導・助言を、学校がいじめ問題に対する指導に活かします。

【成果指標】 協議会実施回数 【目標値】 2回
- 取組3 教育サポートセンター事業**

幼稚園・保育園と小学校との円滑な引継ぎを図るため、相談員が定期的に幼稚園や保育園を訪問し、就学前の児童の情報を収集して各小・中学校に提供します。また、子育てに関する保護者の悩みについて、電話相談や来所相談を行います。

【成果指標】 幼・保・小・中への訪問回数 【目標値】 100回以上

取組4 さわやか相談員配置事業

各中学校で相談室を利用している生徒を対象に相談を受けたり、学習を進めたりします。保護者との面談等も行い、学級復帰に向けて支援します。教育サポートセンター相談員と連携し、課題のある生徒について情報提供・情報共有をします。

【成果指標】さわやか相談員便りの発行回数 【目標値】学期に1回

取組5 自殺予防

学校、家庭、関係機関と連携し、児童生徒に寄り添った教育を推進します。夏季休業前の1週間を「命を大切にす週間」として位置付け、道徳の授業等により、命の大切さや心の健康の保持、SOSの出し方等に関する授業を実施します。

【成果指標】自殺予防に向けた道徳授業の実施回数
【目標値】各校各学級1回以上

施策9 人権を尊重した教育の推進



取組1 人権教育研究委嘱

毎年度、町内の学校から1校に2年間の人権教育の研究を委嘱します。(令和5・6年度は男衾中学校、令和6・7年度は鉢形小学校)2年間の研究の中で人権問題を正しく理解し、人権感覚を磨き、様々な人権課題を解決しようとする児童生徒を育成します。また、指導法や指導内容などを各校に普及します。

【成果指標】研究委嘱発表実施回数 【目標値】1回

取組2 同和教育指導案データ集約と活用

同和問題を人権教育の重要な柱とし、町共通の指導計画の活用や研修を通して、すべての教員が同様に同和問題の授業を計画的・系統的に実施できるようにします。

【成果指標】各校で同和問題を取り上げる授業の実施回数 【目標値】各校2回以上

施策10 健康の保持増進と体力の向上



取組1 体力向上推進委員会の充実

学識経験者・学校関係者で組織され、児童生徒の健やかな体の育成を図ります。特に各校や町全体の体力の課題を分析し、その分析結果をもとに体力向上に向けた取組を実施することにより新体力テストの総合評価の目標値の達成を目指します。

【成果指標】新体力テスト総合評価A+B+Cの割合 【目標値】小学校男女95%以上 中学校男女90%以上

取組2 栄養教諭の学校巡回指導による食育の推進

各校で栄養教諭が巡回指導を実施し、食育の充実を図ります。授業実施対象学年は、小学校、中学校ともに全学年とします。食育に関わる内容を扱うので、教科・領域については、家庭科(技術家庭)、体育(保健体育)、特別活動、総合的な学習の時間を中心とします。

【成果指標】食育に関する授業実施回数 【目標値】70回以上

取組3 部活動指導員の配置

部活動の指導経験が豊富な部活動指導員を中学校に配置することにより、生徒が専門的な技術指導を受けられるようにするとともに、教員の負担軽減を図ります。

【成果指標】配置人数 【目標値】各中学校に1人以上

基本目標Ⅲ

教職員の資質向上と教育環境の充実

施策11

教職員の資質・能力の向上



取組1 教職員の福井県派遣事業【新規】

寄居町の教員を、全国でも高い学力である福井県へ派遣します。派遣教員は事後に、福井県の教育について学力向上推進委員会等で研修を行い、各校へ周知します。各校においては、研修で得たことを自校の学力向上に生かします。

【成果指標】研修会の実施回数 【目標値】学力向上推進委員会等で1回及び各校1回

取組2 人権教育研修会

全教職員を対象として、人権教育講演会や現地研修形式等の人権教育研修会を実施します。研修を通じ、各種人権課題に対する教職員の意識の高揚や人権感覚の育成を図ります。

【成果指標】教職員を対象にした研修会の実施回数 【目標値】2回以上

取組3 体力向上講演会

教職員の体育授業の指導力の向上や体育指導における幅広い知識の習得を目的に、埼玉県の子供生徒の体力向上に実績のある講師を招聘し、小学校教員・中学校保健体育科の教員を対象に講演会を開催します。

【成果指標】体力向上講演会の実施回数 【目標値】1回

取組4 体育実技講習会

埼玉県の各運動領域の研修会に参加した教員が寄居町の各校の教員に実技伝達を行います。各運動領域において児童生徒の体力向上・技能習得に効果のある指導技術を知ることによって体育授業の充実を図ります。

【成果指標】実技講習会実施回数 【目標値】1回

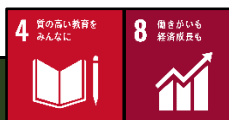
取組5 不祥事防止

寄居町教育委員会作成の教職員不祥事防止資料の配布や埼玉県教育委員会作成の不祥事防止研修プログラムを活用した教職員研修の推進、町内教頭会における管理職対象の不祥事防止研修の実施等により、教職員の不祥事根絶を図ります。

【成果指標】教職員研修会実施回数 【目標値】各校10回以上

施策12

学校の組織運営の改善



取組1 学校評価の効果的な活用

「教育の質の保証・向上」、「学校運営の改善」、「信頼される開かれた学校づくり」という学校評価の目的を果たすために、学校評価を教職員の自己評価シートの達成目標として活用したり、ICTを活用して実施したりするなど、課題の早期発見・早期解決を図ります。

【成果指標】学校評価実施回数 【目標値】各校1回以上

取組2 働き方改革の推進

学校における働き方改革を推進するため、町内全ての教職員を対象とした「寄居町立学校における働き方改革基本方針」をもとに実効ある多忙化解消・負担軽減を確実に進め、学校教育の質の維持向上と教職員の健康維持増進を図ります。

【成果指標】時間外在校等時間 年360時間を超えない教員の割合 【目標値】100%



取組1 安全教育の推進

児童生徒が安全・安心な学校生活が送れるよう各家庭と連携を密にして、いじめを含めた学校事故全般に対して未然防止・早期発見・早期対応を行います。そのために、学校の組織体制や危機管理マニュアル、日頃の児童生徒理解、報告・連絡・相談の徹底等を管理します。

【成果指標】 危機管理マニュアルを使用した教職員研修実施回数 【目標値】 各校学期に1回以上

取組2 救命教育の推進【新規】

寄居町の児童生徒が、救命を必要とする人を見つけた時に、自分のなすべきことを判断できるようにする。そのために、児童生徒のスキルやマインドを育てることを目標に、各校のすべての学級において救命教育に関する授業を導入する。

【成果指標】 救命教育に関する授業実施回数 【目標値】 各校各学級で1回

取組3 ICTを活用した防災・防犯体制の強化

各校のホームページの「緊急時連絡サイト」や家庭との連絡ツール「tetoru」を活用し、緊急時に家庭と連携して、安全且つ迅速に児童生徒を家庭に引き渡すことができるようにしています。

【成果指標】 ICTを活用した避難訓練の実施回数 【目標値】 1回以上

取組4 AEDの屋外移設（救命処置の迅速化）【新規】

各校に設置されているAEDを校舎外に収納ボックスを設けて格納することで利便性を高め、体育授業等屋外で児童生徒等が心肺停止に陥った場合でも素早い対応が取れる環境を整えます。

【成果指標】 設置学校数 【目標値】 9校

取組5 食物アレルギーに対応した給食の提供

児童生徒ごとの食物アレルギーについて把握し、その内容に応じ、牛乳の停止や詳細なアレルギー献立の配布を行います。

【成果指標】 食物アレルギーによる事故件数 【目標値】 0件



取組1 学校施設等の適正な維持管理【拡充】

学校施設の維持管理の徹底を図ります。全国の学校施設において、老朽化が起因と思われる外壁落下事故等の発生している状況を踏まえ、専門家による点検を適切に実施し、施設の維持管理の徹底を図ります。

また、給食センター施設についても、学校給食の安定供給のため、計画的な施設の改修（機器の入れ替え）を行います。

【成果指標】 建築物定期点検実施校数 【目標値】 8校

取組2 学校施設の長寿命化・集約化の推進【拡充】

城南中学校校区の小中学校集約化事業では、前年度に実施したワークショップ会議での意見を踏まえ、検討を進めます。本年度は、ワークショップ会議での意見に対して、広く、町民の皆さんの意見を伺うためパブリックコメントを実施するとともに、方針案について地元説明会を実施し、合意形成を図ります。

男倉中学校校舎長寿命化改修事業は、西校舎の改修に着手し、本年度中の完了に向け工事を進めます。

【成果指標】 地元説明会実施回数 【目標値】 2回

取組3 第3子以降の給食費無償化

多子世帯の経済的負担を軽減することにより、子育て支援を推進するため、学校給食費補助金を交付します。

【成果指標】 学校給食費補助金の広報周知回数 【目標値】 2回以上

取組4 児童生徒の就学支援の推進

小・中・高校等に就学し、経済的な支援を必要とする児童生徒のいる保護者の方に対して、子供たちが安心して学校生活を送れるよう就学支援・就学相談の充実を図ります。

【成果指標】 就学援助制度等の広報周知回数 【目標値】 2回以上

取組5 電子図書館の整備・充実

図書館では、利用者ニーズに応える多様なコンテンツを揃え、電子図書館の充実に努めます。

【成果指標】 電子図書貸出数 【目標値】 7,000点

施策15

地域と連携・協働した教育の推進



取組1	小学校巡回企画展の実施
<p>「主体的・対話的で深い学びの実現」の視点から、毎年度、町内小学校2校が、県立自然の博物館と覚書をかかわし、連携して「小学校巡回企画展」（例：昆虫・小動物展等）を実施します。</p>	
<p>【成果指標】巡回企画展実施回数 【目標値】2回（桜沢小・男衾小）</p>	
取組2	学校運営協議会の充実
<p>各中学校区において、学校運営協議会委員として地域の代表と学校の教職員で組織します。学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを推進することで、質の高い学校教育の実現を図ります。</p>	
<p>【成果指標】協議会のホームページへの掲載回数 【目標値】各中学校区毎に3回以上</p>	
取組3	学校応援団推進事業
<p>各校で地域の方の中からボランティアとして児童生徒の学習活動、安全・安心確保、環境整備などを協力してもらい組織をつくります。学校・家庭・地域が一体となって学校の活性化を図り、家庭や地域の教育力の向上を目指します。</p>	
<p>【成果指標】学校応援団の教育活動での活用回数 【目標値】各校5回以上</p>	
取組4	寄居町青少年健全育成町民会議との連携
<p>地域ぐるみの青少年健全育成支援として、地域の方々の参加による青少年の非行・被害防止の呼びかけや啓発物の配布、道徳講演会の開催等を青少年健全育成町民会議と連携して行います。</p>	
<p>【成果指標】非行・被害防止キャンペーン参加者数 【目標値】100人</p>	
取組5	子どもギネス事業
<p>体力と自己研鑽意欲の向上を目的として、小学校で実施される新体力テストの結果に対し町独自の認定証を交付します。</p>	
<p>【成果指標】認定証の交付数 【目標値】600枚</p>	
取組6	投げ方教室の実施
<p>企業スポーツ部と連携して、全小学校で「投げ方教室」を開催し、ボールの投げ方などの基礎指導を行い、新体力テストでの自己記録更新を図ります。</p>	
<p>【成果指標】投げ方教室開催回数 【目標値】各小学校1回</p>	
取組7	子ども博士検定
<p>寄居町に関する知識を深め、郷土愛をはぐくむとともに、社会、文化、まちづくりなどに対して関心を持たせ、将来的に寄居町の魅力を発信できる人材を育成するため、フィールドワーク等を実施した上で、検定を実施します。</p>	
<p>【成果指標】子ども博士検定参加人数 【目標値】35人</p>	

取組8 日本語教室の実施

令和4年度に発足した日本語教室を地域の関係団体やボランティア等と連携して引き続き実施し、町内に在住、在勤、在学の外国人が安心して日本語を学ぶ環境を整備します。

【成果指標】 開催回数 【目標値】 20回

施策16

家庭教育支援体制の充実



取組1 家庭教育学級の推進事業

令和5年度に引き続き中央公民館と連携し、子どもとその同居家族がふれあいながら参加できる家族向けのフィールドワーク等を取り入れた講座を開催します。
家庭やPTAと連携し、家庭教育学級の充実に努めます。

【成果指標】 開催回数 【目標値】 14回

施策17

町民のニーズに対応した生涯学習環境づくり



取組1 中央公民館運営事業の充実【拡充】

多様化する町民の学習ニーズに応じた講座の開催や子ども大学と連携し、プログラミング教室やスマートフォン教室を行うとともに、60歳以上を対象とした「とことん学び塾」を開講します。町民の関心の高い講師を招き文化講演会を開催し、学習意欲向上を図ります。

また、利用者の利便性を上げるため、研修棟と町民ホールに公衆無線LANを導入し、利用者の通信環境整備を推進します。

【成果指標1】学習講座・講演会の参加者数 【目標値】2,680人

【成果指標2】公衆無線LANの導入 【目標値】年度内導入完了

取組2 中央公民館や地域公民館との連携

地域公民館などで開催される運動会、敬老会や健康増進のための体操、ダンス、グラウンドゴルフ、文化芸術分野の様々な教室や講座などの支援を行います。また、令和6年度についても引き続き20歳を迎える方を対象とした二十歳式を地域公民館と連携し実施します。

【成果指標】地域公民館講座・二十歳式の参加者数 【目標値】24,900人

取組3 図書館事業の充実

図書館は、令和5年度から米国オハイオ州メアリズビル市との交流事業の一環として、メアリズビル市立図書館との交流事業を開始しました。引き続きお互いの市町の観光や文化、歴史などの本などを送り合い、図書館でメアリズビル市を紹介し、町内外にHPやSNSなどで情報発信を行います。

また、教養、調査研究、レクリエーション等に加え、地域の歴史・産業等に関する図書資料を充実させ、利用者の様々な要求にこたえるべき情報発信の拠点化を図って行きます。さらに、児童に配布した「読書通鳥」や移動図書館「たまよど号」の巡回、電子図書館の充実などにより、図書館利用促進を図ります。そして、図書館内に公衆無線LANを導入し、利用者の通信環境向上と利便性向上を図ります。

【成果指標1】貸出点数 【目標値】240,000点

【成果指標2】公衆無線LANの導入 【目標値】年度内導入完了

取組4 社会教育施設の維持管理

寄居町施設等総合管理計画による個別計画に基づき、14施設の適切な維持管理に努めるとともに、引き続き社会教育施設の在り方について検討します。

男衾コミュニティセンターについては、通路に照明を設置する工事を行います。総合体育館・アタゴ記念館については、空調設備新設及びキュービクル更新工事のための基本設計業務委託を行います。また、総合体育館整備工事の主なものとして、体育館入口ホール周辺の陸屋根防水工事を実施します。中央公民館については、高圧受電設備更新工事やエレベーター作業油交換等工事を行うとともに、老朽化した空調設備更新のため、空調設備更新実施設計業務委託を行います。鉢形城歴史館については、適切な見学環境と文化財保存のための良好な環境を維持するため、空調設備の更新工事を行います。

【成果指標1】 男衾コミュニティセンター通路照明取付工事 【目標値】 年度内完了

【成果指標2】 総合体育館・アタゴ記念館空調設備新設及びキュービクル更新工事基本設計業務委託
【目標値】 年度内完了

【成果指標3】 総合体育館・アタゴ記念館陸屋根防水工事 【目標値】 年度内完了

【成果指標4】 中央公民館高圧受電設備更新工事・エレベーター作業油交換等工事
【目標値】 年度内完了

【成果指標5】 中央公民館空調設備更新実施設計業務委託 【目標値】 年度内完了

【成果指標6】 鉢形城歴史館空調設備更新工事 【目標値】 年度内完了

取組5 社会教育施設の充実

町の施設（中央公民館、町民ホール、男衾、折原、桜沢、西部、鉢形、用土の各コミュニティセンター、生涯学舎、総合体育館・アタゴ記念館、弓道場、運動公園、カタクリ体育センター、寄居町鉢形財産区会館、よりい会館）の予約の管理を一元化し、パソコンやスマートフォンから、いつでもどこでも空き情報の確認や予約ができる「寄居町公共施設予約システム（予約システム）」を4月から稼働します。予約システム普及のため職員により丁寧な説明を行いシステム利用の促進に努めます。

【成果指標】 予約システムの利用率 【目標値】 50%以上

取組6 生涯スポーツの推進

各種スポーツ大会を開催し、町民の健康増進、スポーツ、レクリエーションの振興に資することによりスポーツを推進します。また、スポーツ少年団や地域公民館事業におけるスポーツ活動等を支援するとともに、スポーツで全国大会出場等顕著な功績があった方に対して、懸垂幕の掲出等で広く内外に周知しその功績を顕彰します。また、町内の企業スポーツや町ゆかりのアスリートを応援し、町民のスポーツ推進の機運を高めます。令和6年度は、駅伝競走大会が第70回となることから記念大会として内容等を充実させ実施します。

【成果指標】 町が主催・共催・後援するスポーツ大会数 【目標値】 25回

施策18

文化財等の保存整備



取組1 鉢形城歴史館運営事業

秋季企画展や、デジタル技術を活用したイベントなどを開催し、鉢形城の魅力向上と周知を図ります。

【成果指標1】 来館者数 【目標値】 15,000人

取組2 史跡鉢形城跡保存整備事業

第2期保存整備事業（平成29年度から令和8年度）の一環として伝逸見曲輪の発掘調査を継続します。また、外曲輪地区の公有地化を行い史跡の保護を行います。さらに第1期整備で設置した丸太柵の劣化が著しいため、防護柵更新工事を行い安全管理に努めます。

【成果指標1】 鉢形城跡の公有地化 【目標値】 1件年度内購入

【成果指標2】 防護柵更新工事 【目標値】 年度内完了

取組3 文化財の保存活用

町の文化財を後世に伝えるため、重要な文化財を指定し、保存するとともに、伝統文化の継承に努めます。また、開発に伴う埋蔵文化財の調査及び報告書刊行事業を継続して進めます。

【成果指標】 指定文化財維持数 【目標値】 69件

施策19

芸術及び伝統文化の振興・継承

4 質の高い教育を
みんなに



11 住み続けられる
まちづくりを



取組1 芸術文化活動の推進

中央公民館は、日々の芸術文化活動を支援するとともに、活動の成果を発表する場として生涯学習まつりを開催します。また、中央公民館は、多くの町民が興味を抱く、魅力的な講師を選定し、幅広い年齢層の町民が参加したくなる文化講演会の開催や芸術文化を含む多種多様な講座を開催します。また、芸術文化に顕著な功績のあった方は、町広報等に掲載し広く内外に周知し顕彰します。

【成果指標】 生涯学習まつり参加団体数 【目標値】 91団体

取組2 地域の伝統行事の保護・継承

地域と連携し、末永く発展的に伝統行事を開催できるよう支援します。

【成果指標】 山車修復件数 【目標値】 1件

取組3 文化活動団体への活動支援

町内の芸術・文化活動を支援・啓発するため、文化団体の活動を支援します。寄居町教育振興に関する補助金等交付要綱に基づき、文化系の補助対象団体へ補助金を支給します。

【成果指標】 文化活動団体数 【目標値】 15団体

施策20

自然資源の保存・継承

4 質の高い教育を
みんなに



11 住み続けられる
まちづくりを



15 陸の豊かさも
守ろう



取組1 健全な自然環境の保全

モウセンゴケの自生地や氏邦桜など県・町指定の天然記念物を保護・維持します。
（正龍寺玉垂のカエデ、ゴヨウツツジ自生地、ミミカキグサとモウセンゴケ自生地、荒川の青岩礫岩、高野槇、鉢形城の桜・エドヒガン、赤浜中戸のヤブツバキ、塚田三嶋神社のヤブツバキ、姥宮神社の大杉 計9件）

【成果指標】 県・町指定天然記念物維持数 【目標値】 9件